

街頭募金



10/14 (木) に三和麻溝店周辺において、赤い羽根共同募金の呼びかけを行いました。

当日は、地区社協福祉委員 (民生委員・児童委員、自治会福祉部長、理事等およびワークショップ・フレンド利用者) の方々のご協力によって、今年も多く募金が集まりました。

ご協力いただいた募金は「地区敬老事業」「ふれあい給食サービス」「サロン運営」などに活用されます。ご協力ありがとうございました！

※台風16号接近のため、10/1 から延期しました。

募金額【41,068円】



ボランティアセンター あさみぞ



- 相模原養護学校の『登下校見守り』活動中です！
- 毎週月・火・金曜日 午前 (8:30~9:00)、午後 (14:50~15:20)
 - 「相模原養護学校」信号前の横断歩道

12/9 (木) にボランティア登録者向けの『認知症サポーター養成講座』を実施し、25名のボランティアの方にご参加いただきました！



麻溝地区敬老事業

手紙ふれあい交流事業



おしいちゃん おばあちゃ
待っててね！



88歳以上のご高齢の方々に、『麻溝小学校』と『夢の丘小学校』の4年生児童の皆さんが書いたお便りを「手紙ふれあい交流事業」としてお届けいたします。

昨年度は新型コロナウイルスの影響でお届けできませんでしたが、毎年楽しみにされている方も居られて、どんな楽しいメッセージが届くのか待ち望んでいらっしゃる事と思います。2月中にお届けする予定で進めておりますので、もう少しお待ちください。

おいらせ

福祉講座



『コロナを正しく恐れるために』

講師：みその生活支援クリニック 院長 小野沢 滋 氏
 日時：令和4年3月11日（金）午前10時～（約75分）
 場所：麻溝公民館 大会議室
 定員：40名（申込順）⇒申込は…事務局（☎778-2381）まで
 ※新型コロナウイルスの感染状況により、リモート講演になる場合あり

準備中

新規事業

感染予防に配慮した事業を、**3月下旬**の実施に向けて進めています！

紙上旅行 夢想の旅

～ 夢想の旅 第一回 長野県小布施町編②～



新型コロナ禍で外出自粛の鬱々とした日常から逃れて、小さな旅に出かけてみませんか？

前回<小布施町編①>に続き、長野県北東部に位置する小布施町の旅です。

小布施町 ～ 栗と北斎と花のまち～



江戸時代の儒学者にして浮世絵師でもあった小布施出身の文化人・高井鴻山（たかい こうざん）は北斎の弟子であり、北斎の支援者でもありました。鴻山が北斎を小布施に招き、岩松院の天井画「八方睨み鳳凰図」を描いて頂いた事が、この町を世に知らしめたと言われています。

葛飾北斎

江戸時代後期の浮世絵師で、その斬新な作品はゴッホやモネ、ドガなどの画家を驚かせ影響を与えました。

北斎館

小布施町のど真ん中にあり、北斎のみの資料館です。北斎の絵を心ゆくまでご堪能ください。



岩松院（がんしょういん）

戦国武将で知られる福島正則の菩提寺です。本堂裏庭には「蛙合戦の池」があり小林一茶の句碑があります。「やせ蛙負けるな一茶是にあり」この有名な句は、一茶がこの池のほとりで詠んだのです。

栗の小径

小布施を散策するには裏道が一番。小江戸を思わせるレトロな街並み。栗の小径は、北斎館から高井鴻山ミュージアムへの近道。路地はアスファルトではなく、栗の木が敷詰められている。足裏から木の温もりが伝わって来るようです。



小布施オープンガーデン

小布施の人も町も、とてもオープンだ。オープンガーデンに参加する家または施設の庭は誰でも出入り自由。四季折おりの美しい花を愛でる事ができる。これが町内全域に広がり、小布施が「花のまち」と呼ばれるようになったのです。

～ 小布施栗～

小布施の名産は栗を連想しますが、生産量は全国有数ではない。酸性の土壌と北信濃の気候が、どこにも負けない美味しい栗、「小布施栗」を生み、江戸時代から將軍への献上品となり、当時から全国ブランドとして世に知れ渡りました。

歩き回ったのでお腹がすいてきました。お昼ご飯にしましょう。



～ 食事・スイーツ～

和食・洋食・中華・・・何でもありますが、小布施の名産は栗！「栗おこわ」は、おすすめの一品です。栗を使用しているスイーツの専門店もあります。

誠に残念ですが、旅の案内は紙面切れになりました・・・皆様はこの後も想像をふくらませて、**夢想の旅**をお続けください。

次回、夢想の旅 第二回は **～草津～** の予定です。（文. 仲川邦廣）